

食物負荷試験を受けられる患者さんへ

	入院日			退院日
	検査前	検査中	検査後	
目 標	治療について理解できる バイタルサイン(体温、血圧、脈拍等)が安定している アレルギー症状・所見がない			バイタルサイン(体温、血圧、脈拍等)が安定している 日常生活の注意点について理解できる
検 温	検査前に測定します。 	食物負荷試験中は検査する食品を食べてから、 30分後、60分後、90分後、120分後、210分後 に測定します。 ※状態に変化がある場合、上記以外にも適宜行う こともあります。	夕1回測定します。 ※状態に応じて適宜検温を行うこともあります。	朝1回測定します。
検 査	血液検査があります。 血液検査は点滴をとる時に同時に行います。	心電図モニター(心拍数を測定する)・SpO2モニター(体の中の酸素の値を測定する)をつけます。 異常がなければ検査終了後にモニターを外します。 ※状態に応じてモニターを継続することもあります。		
点 滴	アレルギー症状が起こった時のために点滴をとります。		20時に点滴内で血液が固まらないようにお薬 (ヘパリン)を入れます。	医師の診察後、点滴を抜きます。
飲 食	医師の指示に従ってください。 ※入院中は病院でだされる病院食以外は食べないようにし て下さい。	検査中は水のみ飲んでかまいません。	検査後、病院食をお持ちします。 	病院食をお持ちします。 
安静度	病棟内(プレイルームまで)です。 検査までにお手洗い(オムツ交換)を済ましておいて下さい。	検査中は処置室で過ごします。 DVDを持ってきてみたり 本を読んで過ごしてもかまいません。	異常がなく、医師の許可があれば、お部屋に帰 れます。	制限はありません。 
清 潔			医師の許可があれば、シャワー浴ができます。 点滴のところは、看護師がぬれないように保護し ますので、お声がけ下さい。 病気の治療のために軟膏をぬっている方は医師 の許可があればぬって下さい。	制限はありません。
説 明	パンフレットに沿って入院生活及び病棟の案内をします。 入院診療計画書にサインを記入し看護師に渡して下さい。		適宜、看護師より日常生活のお話が ある場合があります。	医師から退院後の生活について説明を行います。
その他	身長、体重を測定します。 患者確認のためにリストバンドをつけます。 もし内服薬をお持ちでしたら、看護師にお渡し下さい。 	息が苦しくなったり、のどや体がかゆくなったり、じんましんがでる、お腹が痛くなる、気持ち悪くなる、 嘔吐がある、顔色が悪い、機嫌が悪い等の症状がでた場合はすぐに看護師にお伝えください。 ※お部屋に帰ってからそのような症状がでた時にはすぐにナースコールをおして下さい。		医師の診察後、退院になります。 